



部門公開セミナー

共催：新学術領域研究「配偶子産生制御」

配偶子融合の分子メカニズム -卵由来エキソソームによる配偶子融合の制御機構-

宮戸健二博士

国立成育医療研究センター・研究所・再生医療センター・
細胞医療研究部・生殖細胞機能研究室

平成 27 年 11 月 20 日(金) 13:30 -
山手 3 号館 2 階 共通セミナー室

細胞融合は受精や器官形成に必須な現象であり、更にウイルス感染や癌といった病態にも関わる現象である。この細胞融合が、生体内でいつ、どこで、どのような細胞によって、どのようにして生じるのか、その理解は進んでいない。一方、受精の研究では数多くのノックアウトマウスが作製されたが、長い間信じられてきた受精の概念を全面的に肯定している結果はほとんどない。

今回のセミナーでは、配偶子融合に関わる卵型エキソソームの働きを中心に、配偶子融合の分子メカニズムについて最新の知見を紹介したい。

連絡先：生殖細胞研究部門 吉田松生 (5865)
shosei@nibb.ac.jp